

特殊小型船舶操縦士学科試験

問題	H
----	---

受験番号	
------	--

【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

【受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	全科目 (問1～問40)	50分
一級、二級	運航 (問23～問40)	20分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(特殊小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適当でないものは、次のうちどれか。

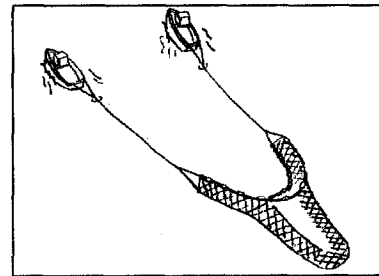
- (1) ウェイクボードを引いているモーターボートの操縦者は、後方に気を取られて前方を見ていない場合がある。
- (2) モーターボートの引き波によって、潮干狩りをしている人が転倒する場合がある。
- (3) 競技中のヨットや水上オートバイは、すべての船に対して優先となるので、見張りをしなくてもよいと決められている場合がある。
- (4) 手漕ぎボートは、モーターボートの引き波によって転覆する場合がある。

問2 航行中のヨットの特長について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 帆走中は、風を受ける舷を変えながら進んでいく場合がある。
- (2) 大きな帆が死角となって、周囲の状況を把握できない場合がある。
- (3) 帆とエンジンの両方を使用して航行する場合がある。
- (4) 風を受けながら航行するので、風下側へのみ航行できる。

問3 下図に示す「底引き網漁業」について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 右図のように2隻が対になって操業している場合は、間に入らないように注意する。
- (2) 網は海底に展開されているので、漁船の後方であれば直近を航行することができる。
- (3) 操業中、針路を急に変更する場合があるので、付近を航行する場合は見張りを怠らないようにする。
- (4) 操業中であることを示す形象物をマスト等に掲げている場合がある。



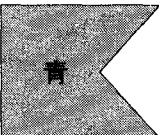

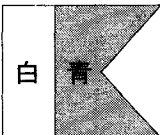
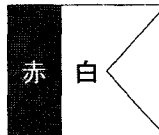
問4 海中転落者のライフジャケット着用による生存率(着用していたことでどれだけ助かったか)は、どのくらいか。最も適当なものを次のうちから選べ。(海上保安庁統計資料より)

- (1) 0%
- (2) 約20%
- (3) 約80%
- (4) 100%

問5 海難審判法に規定されている懲戒に該当しないものは、次のうちどれか。

- (1) 戒告
- (2) 過料
- (3) 免許の取消し
- (4) 業務の停止

問6 「私は、危険物を荷役中または運送中である。」を意味する国際信号旗の配色は、次のうちどれか。ただし、白、青、赤は信号旗の色を表す。

- (1) 
- (2) 
- (3) 
- (4) 

問7 小型船舶の船長が航海計画を立案する場合の心得として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) 自船の性能で航行可能な最大限の航程で計画を立てる。
- (2) 暗礁の多い水域からは、離れて航行する。
- (3) 天候が悪くなった場合の避難港を選んでおく。
- (4) できるだけ夜間の航海は避ける。

問8 小型船舶における事故発生時の処置について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) まず自力で、全力を挙げて応急処置をとる。
- (2) 救助が必要な場合には、遭難信号を行い、付近の船舶に救助を求める。
- (3) 緊急通報は、海上では海上保安庁に行い、湖川では警察に行く。
- (4) 他船の事故を目撃したときには、現場に急行し、まず船体の安全確保に努める。

問9 小型船舶の船長は、遵守事項として「常時適切な見張りを確保」するよう求められているが、次のうち、適切な見張りを確保しているとは言い難いものはどれか。 (小型船舶操縦者法)

- (1) 夜間航行中、レーダーを併用して周囲の状況を監視した。
- (2) 霧が出てきたので、見張りに支障がでないよう窓や扉を閉め切った。
- (3) より遠くの水域まで見渡せるよう、双眼鏡を併用した。
- (4) 自分だけでは不安なので、同乗者にも見張りをするよう依頼した。

問10 操縦免許証の訂正を申請しなければならないのは、どのような場合か。次のうちから選べ。 (小型船舶操縦者法)

- (1) 操縦免許証をき損した場合
- (2) 氏名が変わった場合
- (3) 船舶の名称が変わった場合
- (4) 船舶の保管場所が変わった場合

問11 船舶検査を受ける必要のない船舶に該当するものは、次のうちどれか。 (船舶安全法)

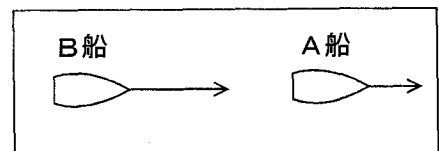
- (1) 旅客定員7人以上のろかい客船
- (2) 長さ3メートル未満でエンジンの出力が1.5キロワット未満の船舶
- (3) 他の船舶に引かれるエンジン付きの客船
- (4) 沿海区域を越えて航行するヨット

問12 不法係留や放置船による影響について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 高潮^{たかしお}や洪水時に流水を止めるので、被害を最小限に抑える効果がある。
- (2) 無秩序に係留された船舶は、他の船舶の通航や工事作業の妨げとなる。
- (3) 所有者が不明のまま放置された船舶は、やがて沈没して大きな障害となる。
- (4) 付近の生活環境や景観の悪化を招き、住民や漁業者等とトラブルになる。

【交通の方法】

問13 右図に示すように、広い水域において、航行中のA船がB船に追い越される場合、A船の航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

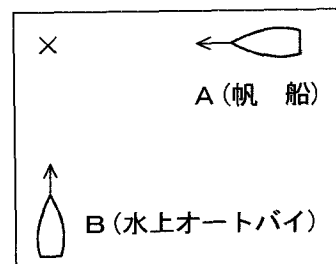


- (1) B船が針路を転じた側と反対側に舵を切り、停船する。
- (2) 早めに大角度の左転をして、B船に進路を譲る。
- (3) B船に注意しながら、針路と速力を保って航行する。
- (4) 針路を保ったまま減速し、B船の航過を待つ。

問14 「衝突を避けるための動作」について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 十分に余裕のある時期に、ためらわずに行う。
- (2) 船舶の運用上の適切な慣行に従って行う。
- (3) 針路又は速力の変更を行う場合は、小刻みに行う。
- (4) 他船との間に安全な距離を保って通過できるように行う。

問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



- (1) Aは風下側に転舵して、Bは風上側に転舵する。
- (2) A、Bともに風下側に転舵して、他船の進路を避ける。
- (3) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保持する。
- (4) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保持する。

問16 「安全な速力」の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されているものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 目的地までの距離
- (2) 帰港予定時刻
- (3) 視界の状態
- (4) 他船の速力

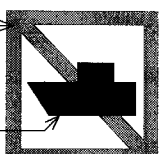
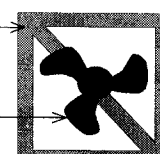
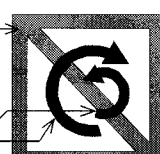
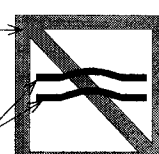
問17 動力船が濃霧中を航行する場合に行う措置として誤っているものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 見張りを厳重にする。
- (2) 短音1回の汽笛信号を繰り返し行う。
- (3) 法定灯火を表示する。
- (4) 機関を直ちに操作できるようにする。

問18 昼間、^{びょう}錨泊中の船舶が表示しなければならない形象物は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 
- (2) 
- (3) 
- (4) 

問19 次の河川通航標識のうち「回転禁止」を表すものはどれか。 (河川法)

- (1) 
- (2) 
- (3) 
- (4) 

問20 港則法が適用される「港内」について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

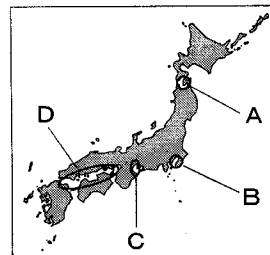
- (1) 防波堤より内側の水域のことをいう。
- (2) 岸壁から2海里以内の水域のことをいう。
- (3) 海図に記載された港界と防波堤との間の水域のことをいう。
- (4) 海図に記載された港界より内側の水域のことをいう。

問21 港内において、雑種船と雑種船以外の船舶が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (港則法)

- (1) 互いに針路を右に転じる。
- (2) 互いに針路を左に転じる。
- (3) 雑種船が雑種船以外の船舶の進路を避ける。
- (4) 雑種船以外の船舶が雑種船の進路を避ける。

問22 右の概略の日本地図に示した海域A～Dのうち、海上交通安全法が適用されない海域はどれか。

- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D



【運航】

問23 乗艇する場合の服装に関する注意として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) 体型に合った、動きやすい服装を心掛ける。
- (2) 同乗する小児には、大人用のライフジャケットを流用する。
- (3) 落水時の衝撃を吸収できるような服装をする。
- (4) 同乗者にも乗艇に適した服装をさせる。

問24 小型船舶操縦士の免許について述べた次の文の()の中に当てはまる語句として適当なものは、下のうちどれか。

「母船に搭載された水上オートバイを操縦する場合は、()の免許が必要である。」

- (1) 一級小型船舶操縦士
- (2) 二級小型船舶操縦士
- (3) 二級小型船舶操縦士(第一号限定)
- (4) 特殊小型船舶操縦士

問25 水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) ジェットインテークからゴミ等を吸い込むと、走行不能になる場合がある。
- (2) 高速走行中は視野が狭くなるので、意識して周囲の見張りを行うほうがよい。
- (3) ジェット噴流の向きを変えることで、艇体の向きを変えるため、旋回性能が良い。
- (4) 小型で軽量なため、推進力がなくても水上で容易に方向転換できる。

問26 ジェット噴流の方向を反転させるためのリバースゲートの操作は、どの装備によって行うか。次のうちから選べ。

- (1) シフトレバー
- (2) ハンドルバー
- (3) チョークノブ
- (4) スロットルレバー

問27 操縦時の基本動作について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 発進させるときは、周囲に遊泳者がいないかどうかを確認し、もし遊泳者がいれば発進しないようにする。
- (B) 加速性が非常に高いので、スロットルレバーの操作はゆっくりと滑らかにいき、急加速や急減速は行わないようにする。

- (1) (A)のみ正しい
- (2) (B)のみ正しい
- (3) ともに正しい
- (4) ともに誤っている

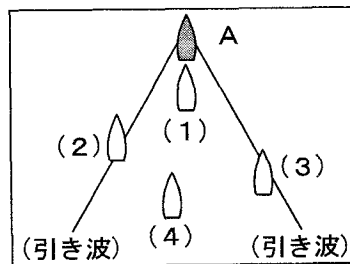
問28 走行中、船首前方付近に浮遊物を発見した場合、とっさにこれを避けるためには、直ちにハンドルとスロットルをどのように操作するのが最も適当か。次のうちから選べ。

- | | | | |
|--------------------|------------------|--------|---------|
| (ハンドル) | (スロットル) | (ハンドル) | (スロットル) |
| (1) そのまま …………… 開ける | (2) 転舵 …………… 戻す | | |
| (3) そのまま …………… 戻す | (4) 転舵 …………… 開ける | | |

問29 ウェイクボードや水上スキーをトーイングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 河川にはトーイングに関する条例や規制があるので、できるだけ湖で行うようにする。
- (2) トーイングロープの2倍以上の横間隔が必要となるので、広い水域で行うようにする。
- (3) トーイングロープをジェットインテークに吸い込み、走行不能になることがあるので注意する。
- (4) 同乗者は、スキーヤー(ボーダー)が転倒した場合、直ちに操縦者に知らせる。

問30 右図に示すように、走行中の水上オートバイAを追走するときは、図中(1)~(4)のうち、どのあたりに位置して走行するのが適当か。



問31 東方位標識は、その標識のどちら側に可航水域があることを示すか。次のうちから選べ。

- (1) 西 (2) 水源 (3) 東 (4) 海口

問32 海図図式「R」(底質)の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 泥 (4) 岩

問33 水上で、エンジン始動後に確認した次の事項のうち、正常ではない状態はどれか。

- (1) 排気は無色で異臭がしない (2) 冷却水点検孔から冷却水が排出されている
(3) ジェットノズルから油が排出されている (4) 異常な振動や音が発生していない

問34 海水域で使用した後の保守手入れについて述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 艇体に付着した塩分を清水で十分に洗い流す。
(2) ジェットノズルやジェットインテークから清水を注入して、内部を十分に洗い流す。
(3) エンジン部分では、特にキャブレター内部を清水で十分に洗い流す。
(4) 洗浄後、乾いた布で水分を拭き取り、金属部分に防錆剤を塗布しておく。

問35 走行中、エンジンが突然停止する原因として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) キルスイッチからコードが外れた。 (2) 燃料が無くなった。
(3) スターターモーターが故障した。 (4) エンジンが焼き付いた。

問36 天気記号(日本式)とその天気を示した次の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) ○…快晴 (2) ⊗…雪 (3) ⊕…くもり (4) ●…雨

問37 気温と風の関係について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 気温が上昇すると、周囲から風が吹いてくる。
(2) 昼間は陸上より海上の気温が高くなり、陸から海へ向かう風が吹く。
(3) 2地点間に気温の差が生じると、気圧差が生じて風が吹く。
(4) 2地点間の気温差が大きいほど強い風が吹く。

問38 西から東の方向へ流れて行く潮流は、次のうちどれか。

- (1) 東西流 (2) 西東流 (3) 東流 (4) 西流

問39 走行中、エンジンに異常を感じた場合の処置として適当なものは、次のうちどれか。

- (1) すみやかにスロットルを戻し、エンジンの様子を見る。
(2) エンジンを掛けたまま、ジェットインテークを点検する。
(3) エンジンを停止した後、ドレンプラグを緩めてみる。
(4) 走行可能であれば、フルスロットルで帰港する。

問40 救命設備の取扱いについて述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) ライフジャケットは、できるだけ身体に密着させるようにバックルやひもをしっかりと締める。
(2) ライフジャケットは、できるだけ水上オートバイ専用のものを着用する。
(3) 信号紅炎を装備していても、代替の備品である携帯電話も持っていくようにする。
(4) 信号紅炎の燃焼時間は、数時間と長いので、遭難と同時に点火する。